

令和 7 (2025) 年度函館市公共下水道事業報告書

1 概 況

(1) 総 括 事 項

令和 7 年度の処理区域内人口は210,267人となり、前年度に比べ3,118人減少したが、下水道普及率（行政区域内人口に対する処理区域内人口の割合）は91.1%となり、前年度に比べ0.1ポイント増加した。

また、水洗化区域内戸数は134,373戸、水洗化済戸数は130,268戸となり、水洗化区域内戸数に対する水洗化済戸数の割合は96.9%となり、前年度に比べ0.1ポイント増加した。

事業収益については、下水道使用料や他会計負担金の減少等により、前年度に比べ 34,585,745円の収入減（0.5%減）となり、総額で7,584,210,711円となった。

事業費用については、委託料や負担金の増加等により、前年度に比べ 52,709,343円の支出増（0.8%増）となり、総額で6,520,357,396円となった。

この結果、当年度の収支は、前年度に比べ87,295,088円減少し、1,063,853,315円の純利益を生じた。

建設改良事業については、下水管渠工事、ポンプ場ほか遠方監視制御設備工事、南部下水終末処理場汚水処理施設処理棟脱臭設備工事等を予定どおり施行した。

なお、下水管渠事業および函館湾流域下水道事業費負担金で、合わせて103,050,000円が建設改良費の繰越額となっている。